

## 企業景況・動向調査

### ●はじめに

「せいしんビジネスクラブ」新春講演会開催時に、当地区企業の景況・動向調査を目的としたアンケートを実施した。概要は以下の通り。

### ●調査概要

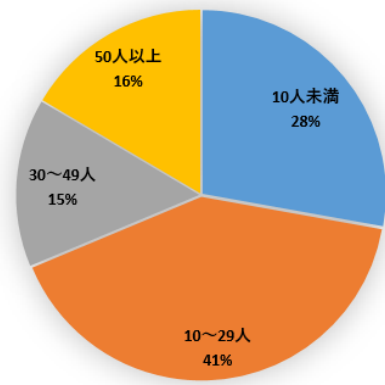
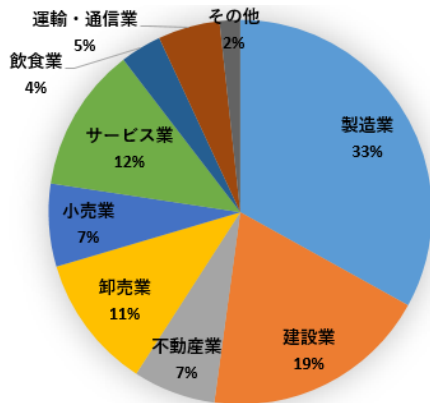
調査時期 : 平成31年1月28日(月)「せいしんビジネスクラブ 新春講演会」開催時

調査対象 : 静岡信用金庫取引先企業の経営者で構成する異業種交流会  
「せいしんビジネスクラブ」会員

調査対象企業数 : 183社 有効回答企業数 : 115社 有効回答率 : 62.8%

《業種内訳 (n=115)》

《従業員規模内訳 (n=115)》



### ●要旨

～売上高は一服感が見られるも、収益面は好調の見通し～

～設備投資は「年内に行う」が増加。好調な景況感、消費税増税が影響か～

～7割以上の中小企業が「人材不足」を懸念しており、「人材確保・育成」に力を注ぐ～

#### ◆ 売上高および経常利益の実績と見通しについて

- ・売上高実績(平成30年7月～12月)は、「増加」が37.4%、「横ばい」が44.3%となった。
- ・売上高見通し(平成31年1月～6月)は、「増加」が27.8%、「横ばい」が58.3%と一服感が見られる。
- ・経常利益実績(平成30年7月～12月)は、「黒字」が85.2%と大半を占めた。
- ・経常利益見通し(平成31年1月～6月)は、「黒字」が91.3%と、企業の収益面は好調の見通しを示した。

#### ◆ 雇用状況・採用予定について

- ・現在の雇用状況は、「不足」と回答した企業が半数を超えたものの、「適正」が平成30年1月調査より5.2ポイント増加しており、一部で状況が改善している様子が見られた。
- ・採用活動については、新卒・非正規での採用予定は少なく、中途での採用を予定する企業が約半数を占め、即戦力人材の確保に注力している様子が窺える。

#### ◆ 設備投資について

- ・現状の設備状況において、「適正」が5割を超える一方で、4割を超える企業が「不足」と、設備の不足感は一方向に解消されていない様子が見えた。
- ・今後の設備投資の予定では、消費税増税を控えていることもあってか「年内に行う」が33.0%で最多となり、平成30年1月調査に比べ8.4ポイント増加した。

#### ◆ 今後の懸念材料・経営課題について

- ・今後の懸念材料は「人材の確保」が75.7%、「人材育成」が58.3%と依然として人材に関する懸念事項が突出して高い結果となった。
- ・今後の経営課題は、「人材の確保・育成」が76.5%で最多となり、次いで「新規顧客・販路の開拓」(55.7%)と営業面の課題も半数を超えた。人材確保が難しい中、効率的に新規顧客・販路を開拓していくためには、多様な営業チャネルを活用することが解決策の一つとなる。